



2023年4月7日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
コード番号 8278 プライム市場
代表者名 代表取締役社長 尾崎 英雄
問合せ先 取締役 統合推進本部長 松川 健嗣
(TEL 089-922-8112)

特別損失の計上（連結・個別）及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社及び当社グループは、2023年2月期におきまして下記のとおり特別損失（連結・個別）を計上し、あわせて2022年4月8日に公表しました2023年2月期連結業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 連結

・減損損失

当社及び当社グループの保有する固定資産のうち収益性の低下がみられた店舗等について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき店舗を最小単位とする資産グループごとに将来キャッシュフローを算定し判定した結果、第4四半期連結会計期間において、以下の店舗資産等について減損損失4,123百万円（下記、個別計上額含む）を計上いたします。

（単位 百万円）

内訳	店舗数	金額
スーパーマーケット	69	4,066
レストラン・フードコート等	6	32
遊休地等	7	25
計	82	4,123

なお、2023年2月期第3四半期までに計上しております746百万円を含めた当連結会計年度における減損損失は4,870百万円となります。

(2) 個別

・減損損失

当社の保有する固定資産のうち収益性の低下がみられた店舗等について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗を最小単位とする資産グループごとに将来キャッシュフローを算定し判定した結果、第4四半期会計期間において以下の店舗資産について減損損失 987 百万円を計上いたします。

(単位 百万円)

内訳	店舗数	金額
スーパーマーケット	2	987
計	2	987

なお、2023年2月期第3四半期までに計上しております 328 百万円を含めた当事業年度における減損損失は 1,315 百万円となります。

2. 業績予想の修正

当連結会計年度における当社及び当社グループは、行動制限の緩和により外出需要が回復基調にあることで、スーパーマーケット事業を中心に営業収益は堅調に推移しました。

加えて、親会社株式に帰属する当期純利益につきましても、2022年7月7日に「投資有価証券売却の結果および特別利益の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました保有株式の売却益の影響により予想数値を上回る見込みです。

一方で、あらゆるコストの高まりが利益を押し下げました。特に電気料金は、当社グループ各社合計で前年より約 69 億円増加しており、節電の徹底とともに販売費や設備活動費など積極的なコストの削減に加え、ロス削減などによる荒利益率の改善にも取り組みましたが、電気料金の増加分を吸収するには至らず、営業店舗の利益を圧迫しており、営業利益、経常利益は予想数値を下回る見込みです。

上記により、2023年2月期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

2023年2月期連結業績予想数値の修正 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	774,000	13,900	16,000	5,800	66.91
今回修正予想 (B)	784,967	11,320	13,359	9,033	104.22
増減額 (B-A)	10,967	△2,580	△2,641	3,233	—
増減率 (%)	1.4	△18.6	△16.5	55.7	—
(ご参考) 前期実績	320,867	7,375	9,945	3,937	103.19

以 上